

長野管理事務所管内 脆弱岩対策土質調査

特記仕様書

令和 7 年 9 月

東日本高速道路株式会社関東支社  
長野管理事務所

## 目 次

第1章 総則 .....	1
1－1 調査等概要 .....	1
1－1－1 調査等名 .....	1
1－1－2 路線名 .....	1
1－1－3 履行箇所 .....	1
1－1－4 主な履行内容 .....	1
1－2 適用する共通仕様書 .....	1
1－3 テクリスへの登録 .....	1
1－4 履行期間 .....	2
1－5 資料の貸与 .....	3
1－6 受注者相互の協力 .....	3
1－7 計画工程表 .....	4
1－7－1 計画工程表の記載事項 .....	4
1－7－2 計画工程表に基づく作業状況の報告 .....	4
1－8 調査等打合簿の作成および提出について .....	4
1－9 部分使用 .....	5
第2章 細則 .....	5
2－1 業務概要 .....	5
2－2 地形地質 .....	5
2－3 調査ボーリング .....	5
2－3－1 調査ボーリング箇所 .....	5
2－3－2 給水 .....	7
2－3－3 調査ボーリングの打ち止め位置 .....	7
2－3－4 標準貫入試験 .....	7
2－3－5 サンプリング .....	7
2－3－6 地下水位観測 .....	8
2－3－7 足場仮設 .....	8
2－3－8 現場内小運搬 .....	9
2－3－9 調査孔閉塞 .....	9
2－4 室内試験等 .....	9
2－4－1 土質試験 .....	9
2－5 土質調査 打合せ .....	9
2－6 交通費・宿泊費（土質調査） .....	10
2－7 交通費・宿泊費（技術業務） .....	10

2－8	成果品.....	10
2－9	国土地盤情報データベース検定.....	10
2－10	補足事項 .....	11

【様式－1】 履行期間通知書

【様式－2】 マイルストーン管理手法を用いた計画工程表（例）

【別添－1】 対策工選定フロー

## 第1章 総則

### 1-1 調査等概要

1-1-1 調査等名 長野管理事務所管内 脆弱岩対策土質調査

1-1-2 路線名 高速自動車国道 関越自動車道 上越線  
高速自動車国道 中央自動車道 長野線

1-1-3 履行箇所 自) 群馬県安中市新堀 (37.5 KP)  
至) 長野県上水内郡信濃町柏原 (167.2 KP)  
自) 長野県安曇野市豊科南穂高 (33.2 KP)  
至) 長野県千曲市屋代 (75.7 KP)

### 1-1-4 主な履行内容

内訳書の項目	数量	単位	備考
調査業務			
調査ボーリング	242.0	m	φ66、φ116
標準貫入試験	154	回	JIS A 1219
地下水位観測 (自記水位計設置)	5	箇所	
地下水位観測 (自記水位計観測)	60	箇所・月	
土質試験 三軸圧縮試験方法	18	シリーズ	JGS 0521
土質試験 土の湿潤密度試験方法	18	シリーズ	JIS A 1225
交通費・宿泊費 (土質調査)	1	式	
技術業務			
地形地質 地形判読	7.84	km	
地形地質 地形地質踏査	7.84	km	
土質調査 打合せ	1	式	
交通費・宿泊費 (技術業務)	1	式	

### 1-2 適用する共通仕様書

契約書第1条に規定する「調査等共通仕様書」(以下「共通仕様書」という。)は、令和7年7月版とする。

### 1-3 テクリスへの登録

本業務は、「調査等における余裕期間制度」を適用しており、共通仕様書1-12-4「テクリスへ登録」の規定によらず、以下のとおりとする。

受注者は、受注時または変更時において請負金額が100万円以上の調査等について、業

務実績情報システム（以下「テクリス」という。）に基づき、受注・変更・完了・訂正時に業務実績情報として作成した「登録のための確認のお願い」をテクリスから監督員宛に電子メールを送信し、監督員の確認を受けた上で、以下の期限までに登録機関に登録申請しなければならない。ただし、登録期限には、土曜日、日曜日、国民の祝日に関する法律に定める国民の祝日（以下「休日等」という。）及び共通仕様書 1－3「日数等の解釈」に規定する日数は含まない。

- （１）受注時は、受注者が設定した業務の始期から 15 日以内
- （２）登録内容の変更時は、変更があった日の翌日から 15 日以内
- （３）完了時は、完了届提出日の翌日から 15 日以内

また、登録機関発行の「登録内容確認書」は、テクリス登録時に監督員にメール送信される。なお、変更時と完了時の間が 15 日間に満たない場合は、変更時の登録申請を省略できるものとする。

当該業務において調査基準価格を下回る金額で落札した場合、テクリスに業務実績情報を登録する際は、「低価格入札」にチェックした上で、「登録のための確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受けること。

また、本業務の完了後において訂正または削除する場合についても同様に、テクリスから受注者にメールを送信し、速やかに発注者の確認を受けた上で、登録機関に登録申請しなければならない。

なお、テクリス登録に要する費用は受注者の負担とする。

#### 1－4 履行期間

本業務は、共通仕様書 1－13「着手日」の規定によらず、受注者の円滑な業務執行体制の確保を図るため、事前に技術者確保等の準備を行うことができる全体履行期間及び余裕期間を設定した業務であり、発注者が示した全体履行期間内（業務完了期限までの間）で、受注者が業務の始期（業務着手日）及び終期（業務完了日）を任意に設定することができる。なお、契約上の履行期間は、契約保証取得の日の翌日から受注者が設定した業務の終期までの期間とする。

余裕期間内は、管理技術者、照査技術者又は現場作業責任者を設置することを要しない。また、業務着手以外の業務のための準備を行うことができるが、現地踏査や打合せを行ってはならない。

なお、余裕期間内に行う準備は受注者の責により行うものとする。

受注者は、落札者決定から 10 日以内に、履行期間通知書（本特記仕様書様式－1）より、業務の始期及び終期を発注者へ通知しなければならない。

余裕期間（業務着手期限）：契約保証取得の日の翌日から 90 日間（まで）

全体履行期間（業務完了期限）：契約保証取得の日の翌日から 660 日間（まで）

#### 1-5 資料の貸与

共通仕様書 1-15-1 及び 5-2-3 「資料の貸与」に基づく貸与資料は、下表のとおりとする。なお、履行期間中業務においては貸与予定日であり、変更がある場合は別途監督員より通知する。

貸与品	形式	貸与時期	備考
関東支社・新潟支社管内 航空レーザ測量および災害リスク分析業務 成果品 LPデータ	PDFデータ DEMデータ	契約締結後	
関東支社管内 盛土のり面性状調査 成果品	PDFデータ	契約締結後	
令和5・6年度のり面性状評価業務 成果品	PDFデータ	契約締結後	
既設盛土補強の設計・施工に関する 技術資料（令和6年7月）	PDFデータ	契約締結後	

#### 1-6 受注者相互の協力

共通仕様書 1-20 「受注者相互の協力」に示す「隣接または関連の調査等の受注者」は下表のとおりとする。なお、下表は現時点のものであり、変更が生じた場合は監督員より通知する。

調査等業務名	履行期間	受注者	発注機関	備考
令和7年度 長野管理事務所 管内 のり面性状評価業務	令和7年4月1日～ 令和8年3月31日	ネクスコ東日本エンジニアリング(株)	東日本高速道路(株)	隣接施工
上信越自動車道 上田ローマン橋 変状調査	令和7年4月1日～ 令和8年6月30日	ネクスコ東日本エンジニアリング(株)	東日本高速道路(株)	隣接施工
上信越自動車道 上田ローマン橋 補修設計	令和7年5月14日 ～令和8年5月8日	計画エンジニアリング(株)	東日本高速道路(株)	隣接施工
長野管理事務所 管内 脆弱岩対策設計	未定	未定	東日本高速道路(株)	隣接施工

## 1-7 計画工程表

### 1-7-1 計画工程表の記載事項

共通仕様書 1-1-4-1 「作業計画書の提出」(2) に示す作業計画書中の計画工程表(本特記仕様書様式-2)の作成にあたっては、下記の項目ごとに作業完了時期を明示し提出するものとする。ただし、記載する項目は監督員と受注者とで協議の上変更することができるものとする。

計画工程表は本特記仕様書 1-5 「資料の貸与」に示す資料の貸与時期、および共通仕様書 1-2-2 「打合せ」に規定する打合せの実施時期についても十分検討の上作成するものとし、これらの事項は計画工程表に記載するものとする。

種別	項目	備考
調査業務	調査ボーリング	
	標準貫入試験	
	地下水位観測	
	土質試験 三軸圧縮試験方法	
	土質試験 土の湿潤密度試験方法	
技術業務	地形地質 地形判読	
	地形地質 地形地質踏査	
	土質調査 打合せ	

### 1-7-2 計画工程表に基づく作業状況の報告

受注者は共通仕様書 1-2-2 「打合せ」に規定する打合せの実施時に、作業の実施状況を計画工程表に記載した上で監督員に報告をするとともに、共通仕様書様式第 1-4 号「調査等打合簿」に添付するものとする。

なお、受注者は前項で規定した完了時期が著しく変更となる場合は、共通仕様書 1-1-4-3 「変更作業計画書」に基づき変更計画工程表を監督員に提出するものとする。また、その結果調査等内容の変更が生じる場合の取扱いは受注者と監督員とで協議の上決定するものとする。

## 1-8 調査等打合簿の作成及び提出について

受注者による共通仕様書 1-2-2 「打合せ」に規定する調査等打合簿の監督員への提出は、打合せ後 7 日以内(休日等を除く)に監督員に提出するものとする。

また、監督員は受注者より提出のあった調査等打合簿を受領後 7 日以内(休日等を除く)に受注者へ返送するものとする。

## 1-9 部分使用

共通仕様書 1-36 の規定に基づき部分使用を請求する内容および時期は下表のとおりである。なお、下記内容のほか別途部分使用を指示する場合がある。

種別	内容	使用開始時期	使用理由
技術業務	地形地質 地形判読 地形地質 地形地質踏査	令和 8 年 6 月頃	別途実施する調査等業務で使用するため
土質調査	調査ボーリングおよび 各種試験結果	実施の都度	別途実施する調査等業務で使用するため

## 第 2 章 細則

### 2-1 業務概要

本業務は、長野管理事務所管内で予定されている脆弱岩対策等予定箇所 43 斜面において、地形地質踏査および地形図などから周辺地形を判読し、盛土のり面性状調査等の既往業務で示されている対策工に合致するかどうかを判別する概略検討や調査ボーリング、地下水位観測などにより対策工を個別検討するための基礎資料を得るための業務である。

### 2-2 地形地質

#### (1) 地形判読

地形判読とは、貸与資料をもとに対策箇所ごとに周辺の地形・地質的な特徴をまとめ地形判読図を作成するもの。また貸与資料および別添-1 に示す対策工選定フロー図に基づいて適切な対策工を選定するもの。

#### (2) 地形地質踏査

地形地質踏査とは、監督員の指示に基づき調査に必要な現地踏査のことを指す。なお側道からの進入が困難な箇所については発注者が同行する。

項目	区分	地形条件	検測	検討範囲
地形判読	地形判読 1 千相当	普通山地相当	延長を本線中心線で 算出し 1 k m あたり で検測する	中心線から およそ 3 0 0 m 幅
地形地質踏査	地形地質踏査 1 千相当			

### 2-3 調査ボーリング

#### 2-3-1 調査ボーリング箇所

調査ボーリングは参考図面に示す位置で行うものとするが、既往調査の結果により調査実施位置を精査し見直しが必要であると判断した場合は監督員に報告するものとし、その後の取り扱いについては監督員と受注者で協議のうえ決定するものとする。



【本孔】

コア番号 (斜面 No.)	種別・規格		単位	数量	コア種別	せん孔 深度	せん孔 方向
B I - 1 (07-01-23)	φ 6 6 mm	礫混じり 土砂	m	21.00	オールコ アリング	5 0 m 以下	鉛直下方
B I - 2 (07-01-23)	〃	〃	〃	20.00	〃	〃	〃
B I - 3 (08-01-15)	〃	〃	〃	16.00	〃	〃	〃
B I - 4 (08-01-15)	〃	〃	〃	15.00	〃	〃	〃
B I - 5 (08-02-02)	〃	〃	〃	11.00	〃	〃	〃
B I - 6 (08-02-07)	〃	〃	〃	22.00	〃	〃	〃
B I - 7 (08-02-08)	〃	〃	〃	13.00	〃	〃	〃
B I - 8 (08-02-08)	〃	〃	〃	16.00	〃	〃	〃
B I - 9 (3568)	〃	〃	〃	20.00	〃	〃	〃

【別孔】

コア番号 (斜面 No.)	種別・規格		単位	数量	コア種別	せん孔 深度	せん孔 方向
B I - 1 (07-01-23)	φ 1 1 6 mm	礫混じり 土砂	m	10.00	ノンコア リング	5 0 m 以下	鉛直下方
B I - 2 (07-01-23)	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
B I - 3 (08-01-15)	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
B I - 4 (08-01-15)	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
B I - 5 (08-02-02)	〃	〃	〃	8.00	〃	〃	〃
B I - 6 (08-02-07)	〃	〃	〃	10.00	〃	〃	〃

B I - 7 (08-02-08)	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
B I - 8 (08-02-08)	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
B I - 9 (3568)	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃

なお土質区分が上記と異なる場合は監督員と協議のうえ契約項目を変更するものとする。

### 2-3-2 給水

調査ボーリングにおける掘削は有水ボーリングで行うため、給水しながら行うものとする。各箇所での給水方法は以下のとおりとする。

コア番号 (斜面 No.)	給水方法	備考
B I - 1 (07-01-23)	車両給水	
B I - 2 (07-01-23)	〃	
B I - 3 (08-01-15)	〃	
B I - 4 (08-01-15)	〃	
B I - 5 (08-02-02)	〃	
B I - 6 (08-02-07)	〃	
B I - 7 (08-02-08)	〃	
B I - 8 (08-02-08)	〃	
B I - 9 (3568)	〃	

現地確認の結果、車両給水が難しい場合は、監督員と協議のうえ変更するものとする。

### 2-3-3 調査ボーリングの打ち止め位置

調査ボーリングの打ち止め位置は、原地盤を確認してからおよそ 3 m の位置を標準とする。

### 2-3-4 標準貫入試験

標準貫入試験の内訳は次のとおりである。

土質区分	試験回数
礫混じり土砂	オールコアボーリング 1 m あたり 1 回

なお土質区分が上記と異なる場合は監督員と協議のうえ契約項目を変更するものとする。

### 2-3-5 サンプルング

サンプルングは各種室内試験を実施するために試料をサンプルングするもの。調査ボーリング（本孔）より、盛土および基礎地盤の構造、性状、孔内水位を把握したのちに、実

施位置を2箇所程度、監督員と協議のうえ決定し別孔により試料を採取すること。

コア番号（斜面 No.）	サンプリングの種別	本数
B I - 1 （07-01-23）	三重管式	2 本
B I - 2 （07-01-23）	〃	〃
B I - 3 （08-01-15）	〃	〃
B I - 4 （08-01-15）	〃	〃
B I - 5 （08-02-02）	〃	〃
B I - 6 （08-02-07）	〃	〃
B I - 7 （08-02-08）	〃	〃
B I - 8 （08-02-08）	〃	〃
B I - 9 （3568）	〃	〃

## 2－3－6 地下水位観測

地下水位観測は、調査ボーリングで削孔した調査孔に自記水位計を設置し水位観測を行うもの。観測は12か月間実施し四半期に1回データを収集し監督員に報告するものとする。

コア番号（斜面 No.）	観測期間	備考
B I - 4 （08-01-15）	調査ボーリング後、12か月	購入
B I - 5 （08-02-02）	調査ボーリング後、12か月	〃
B I - 6 （08-02-07）	調査ボーリング後、12か月	〃
B I - 8 （08-02-08）	調査ボーリング後、12か月	〃
B I - 9 （3568）	調査ボーリング後、12か月	〃

## 2－3－7 足場仮設

足場仮設の区分は次のとおりとする。

コア番号（斜面 No.）	種別	規格	備考
B I - 1 （07-01-23）	傾斜地足場	地形傾斜 15° 以上 30° 未満	
B I - 2 （07-01-23）	〃	〃	
B I - 3 （08-01-15）	〃	〃	
B I - 4 （08-01-15）	〃	〃	
B I - 5 （08-02-02）	〃	〃	
B I - 6 （08-02-07）	〃	〃	
B I - 7 （08-02-08）	〃	〃	
B I - 8 （08-02-08）	〃	〃	
B I - 9 （3568）	〃	〃	

### 2-3-8 現場内小運搬

現場内小運搬の種別および数量は、次のとおりとする。

コア番号（斜面 No.）	種別（地点ごとの運搬形式）	延長
B I-1（07-01-23）	モノレール運搬	50m以上100m未満
B I-2（07-01-23）	〃	50m以下
B I-3（08-01-15）	〃	200m以上300m未満
B I-4（08-01-15）		
B I-5（08-02-02）	〃	50m以上100m未満
B I-6（08-02-07）	人肩運搬	50m以上100m未満
B I-7（08-02-08）	〃	50m以上100m未満
B I-8（08-02-08）	モノレール運搬	300m以上500m未満
B I-9（3568）	〃	50m以上100m未満

### 2-3-9 調査孔閉塞

調査ボーリング（別孔）の終了後、ボーリング孔は粘土等で閉塞するものとする。

### 2-4 室内試験等

#### 2-4-1 土質試験

土質試験の試験項目および試験方法は次のとおりとする。

試験項目	試験方法	摘要
土の非圧密非排水（UU）三軸圧縮試験方法	JGS 0521	1シリーズ3ケ
土の湿潤密度試験方法	JIS A 1225	1シリーズ3ケ

なお三軸圧縮試験方法について、試験は土質に合わせた試験方法を選定するものとし、必要により監督員と協議のうえ契約項目を変更または追加するものとする。

### 2-5 土質調査 打合せ

打合せ回数は、業務内容確認検査および完了検査（Web）を含め7回を標準とする。打合せの検測数量は1式とする。監督員が打合せ回数の追加を指示した場合や業務の追加、変更に伴い打合せを追加する必要がある場合の取扱いには監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

対面での打合せ場所は、東日本高速道路株式会社長野管理事務所で行うものとする。ただし、打合せ場所の変更を監督員が指示した場合は、受注者はこれに従わなければならない。

また、Web カメラおよびWeb 会議システム等を活用して打合せを実施する場合の取扱いには監督員と受注者との協議の上決定するものとする。

## 2-6 交通費・宿泊費（土質調査）

交通費・宿泊費（土質調査）とは、調査ボーリング等土質調査に係る交通費・宿泊費を指す。なお、業務に大幅な変更が生じた場合、交通費・宿泊費の増減に伴う費用については、別途監督員と協議するものとする。

## 2-7 交通費・宿泊費（技術業務）

交通費・宿泊費（技術業務）とは、対面方式での打合せおよび地形地質踏査に必要な交通費・宿泊費のことをいう。なお、業務に大幅な変更が生じた場合、交通費・宿泊費の増減に伴う費用については、別途監督員と協議するものとする。

## 2-8 成果品

報告書の表紙は黒色、金文字製本とする。成果品の項目は以下のとおりとする。

設計種別・項目	成果品項目	提出部数	摘要
地形判読	地形判読図 対策検討結果	報告書1部 電子納品3部 (うち1部は 総研提出用)	共通仕様書3-4-4 地形判読図は各盛土A3 1枚 任意縮尺で作成する
地形地質踏査	土木地形地質図 地質図 地層地質縦断図		共通仕様書3-4-4 各種図は各盛土A3 1枚 任意縮尺で作成する 地形地質縦断図は調査ボーリング実施箇所のみ作成する

## 2-9 国土地盤情報データベース検定

共通仕様書3-19「国土地盤情報データベース検定」に示す国土地盤情報データベース検定は、調査ボーリング1本当たりの検定費用を2,000円（ボーリング責任者が地質調査技士の資格を有する場合に限る。）とする。なお、調査ボーリングの数量は9本とし、ボーリング本数の増減および資格区分の相違に伴う請負代金額の変更は、監督員と受注者との協議し定めるものとする。また、共通仕様書3-19「国土地盤情報データベース検定」に示す、登録するボーリングデータの公開区分を下表に示す。

路線名	位置	区分	ボーリング名	公開区分
高速自動車国道 関越自動車道 上越線	KP. 49. 935	下り線 盛土	B I-1	公開
高速自動車国道 関越自動車道 上越線	KP. 49. 910	下り線 盛土	B I-2	公開

高速自動車国道 関越自動車道 上越線	K P . 1 5 0 . 8 1 7	上り線 盛土	B I - 3	公開
高速自動車国道 関越自動車道 上越線	K P . 1 5 0 . 8 9 7	上り線 盛土	B I - 4	公開
高速自動車国道 中央自動車道 長野線	K P . 4 0 . 6 8 9	上り線 盛土	B I - 5	公開
高速自動車国道 中央自動車道 長野線	K P . 4 8 . 6 4 5	上り線 盛土	B I - 6	公開
高速自動車国道 中央自動車道 長野線	K P . 4 8 . 6 8 9	上り線 盛土	B I - 7	公開
高速自動車国道 中央自動車道 長野線	K P . 4 8 . 8 9 4	上り線 盛土	B I - 8	公開
高速自動車国道 関越自動車道 上越線	K P . 1 5 6 . 3 7 2	下り線 盛土	B I - 9	公開

## 2-10 補足事項

- ・対策工の検討段階において、外部の委員会等に諮るため、資料作成を追加する場合がある。
- ・対策工の個別検討が必要であると判断された斜面について、個別検討に向けた基礎資料を得るため、調査ボーリングおよび各種土質試験の数量を変更する場合がある。
- ・現場状況に応じて下草刈りが必要であると監督員が認める場合は追加する場合がある。

【様式－１】

令和 年 月 日

東日本高速道路株式会社 支社（事務所）  
支社長（所長） 殿

住所  
会社名  
代表者

履行期間通知書

（調査等名）

標記について、発注者が示した全体履行期間内において業務の始期と終期を設定しましたので、通知します。

記

１．契約保証取得の日

令和 年 月 日

２－１．発注者が設定した全体履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 （ 日間）

（１．契約保証取得の日の翌日）

２－２．発注者が設定した余裕期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 （ 日間）

（１．契約保証取得の日の翌日）

３－１．受注者が設定した業務の始期

令和 年 月 日

３－２．受注者が設定した業務の終期

令和 年 月 日

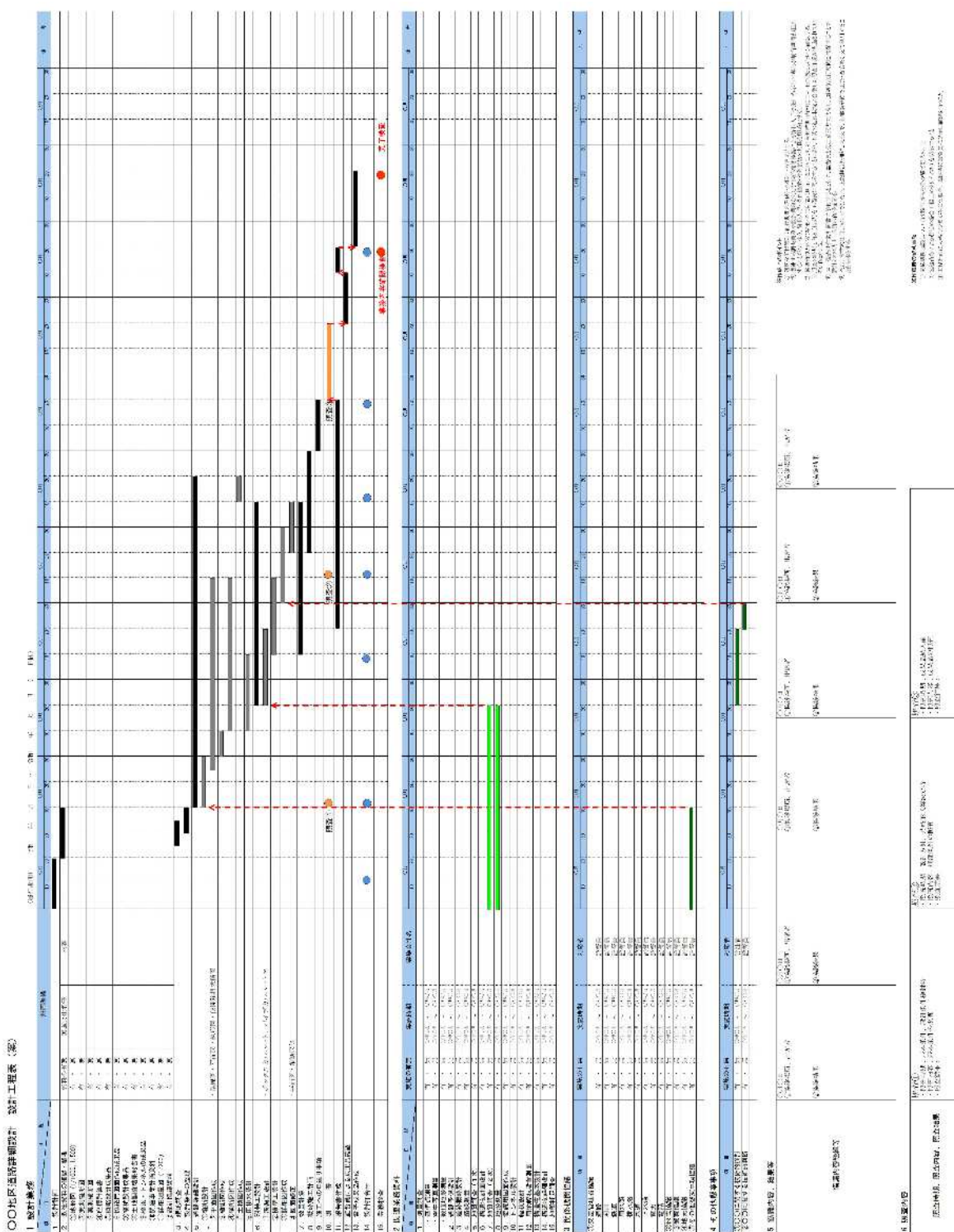
３－３．契約上の履行期間

令和 年 月 日 ～ 令和 年 月 日 （ 日間）

（１． 契 約 保 証 取 得 の 日 の 翌 日 ） （３－２．受注者が設定した業務の終期）

以 上

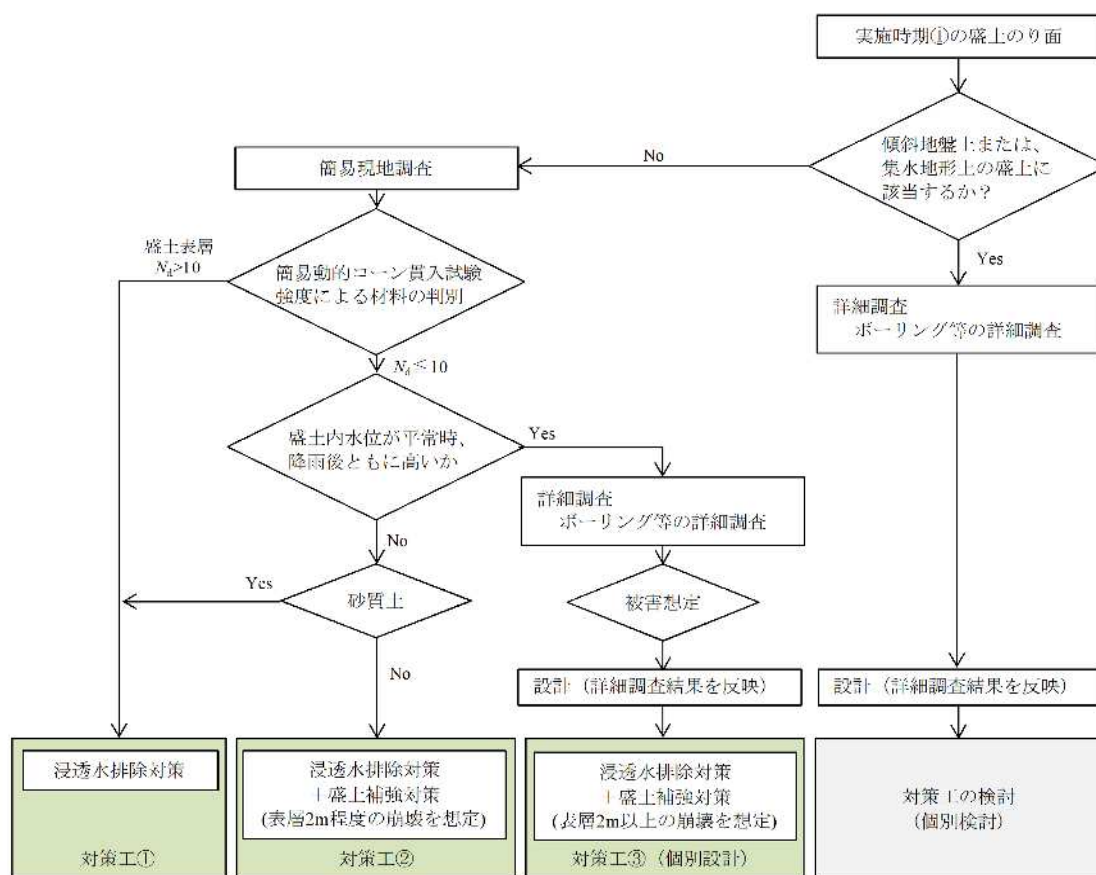
【様式－２】



### マイルストーン管理手法を用いた計画工程表（例）



【別添－１】



対策工選定フロー図